

令和5年度「こころの劇場」倉敷公演について

- 1 目的 劇場で舞台芸術を鑑賞する機会を通じて、児童の豊かな情操の涵養を目指すとともに、公共の場でのマナーの育成を図る。
- 2 作品 劇団四季ミュージカル『ジョン万次郎の夢』
- 3 日時 令和6年1月29日（月）・30日（火）
29日（月）舞台設営・リハーサル
第1回公演 13:15 開場／14:00 開演 16:05 終演
30日（火）第2回公演 9:15 開場／10:00 開演 12:05 終演
第3回公演 12:45 開場／13:30 開演 15:35 終演
【上演時間：2時間5分(休憩15分含む)】
- 4 会場 倉敷市民会館（定員1,974席）
- 5 対象 倉敷市内の小学6年生（約4,600人 ※引率教員等を含む）
※複式学級の学校は、5・6年生の観覧
62校（倉敷支援学校含む）
- 6 主催 倉敷市教育委員会／劇団四季／（一財）舞台芸術センター

ミュージカル『ジョン万次郎の夢』

『ジョン万次郎の夢』は、江戸時代の末期に実在した人物で、日本人ではじめてアメリカに渡ったといわれている中浜万次郎の半生を描いたミュージカルです。

土佐の漁村に生まれ、漁にでた14歳の万次郎は、嵐によって遭難。無人島にたどり着いた万次郎たちを助けてくれたのは、偶然通りかかったアメリカの捕鯨船でした。その船のアメリカ人船長との出会いが、のちの彼の運命を大きく動かすことに――。

船長とともにアメリカの地に降り立ち、英語を学び、進んだ文化を目の当たりにした万次郎。もち前の好奇心と、あきらめない心、そして彼の行動力は、鎖国（さこく）によって閉ざされた日本の扉を世界に開き、やがて日本とアメリカのかけ橋となるのです。

壮大でロマンあふれるこの物語は、実際の万次郎の身に降りかかったできごと。

そんな彼の姿は、今を生きる私たちに、「相手を信じて理解する心」「困難に立ち向かう勇気」を教えてください。